

安全対策ふまえ算定を

原発費用のあり方 識者に聞く



京大原子炉実験所教授
山名 元さん

— 事故コストを巡り、アメリカの法律の考え方にならった試算に落ち着くまで、検証委の専門家の見解に隔たりがありました。事故コストのもう一つの考え方なのですが、「処理にかかった費用に今後事故が起る確率をかけたもの

原子力の発電コストをめぐる、政府のコスト等検証委員会は19日、東京電力福島第一原子力発電所事故の処理費用などを考慮し、従来の5割増という最終報告書をまとめた。原発のコストについて、どう考えたらいいのか。原子力推進と脱原発、双方の識者に聞く。

原発列島
ニッポン
コストを考える **上**



立命館大教授(環境経済学)
大島 堅一さん

— 事故のコストはどう算定すべきでしょうか。保険料で量るべきだと思ふんです。被害額が青天井の原発事故を保険会社が引き受ける際、どれくらいの保険料になるか。いくら利益が出て、原発事故を1回引いてしまつたら大変

を」という議論になった。ところが、この発生確率の考え方が全く違うんです。この40年の日本の実績で計算すると確率は500分の1です。これだと、今後

— 事故コストを巡り、アメリカの法律の考え方にならった試算に落ち着くまで、検証委の専門家の見解に隔たりがありました。事故コストのもう一つの考え方なのですが、「処理にかかった費用に今後事故が起る確率をかけたもの

これは以下をめざすべきだという標準値がある。国際原子力機関(IAEA)の

要求と思つて下さい。これが10万分の1。反対派の人が主張する確率の200分の1です。IAEAの標準値のように低くできる、ということ的前提にはくらは考えます。安全対策をきちつとやつたうえで、本来あるべき確率で考えるのがスジではないかと。 — 検証委の結論は「原子力は必ずしも一番安くはない」でした

ばコストをいくら高くしてもいい。だけど、原子力をうまく使うことによる国益や公益があるから、それを買うということなんです。例えば、旅客機が化学工場に墜落して広く環境を汚染したとしましょう。そういう事故を航空会社が全部想定して保険料とかコストに入れたら運賃が上がる。そこまで考慮しない航空会社と競争したら負けるに決まっています。コストとして計算するのはこの辺りまで、という合理的な範囲があるだろうと思ふんです。

— 事故のコストはどう算定すべきでしょうか。保険料で量るべきだと思ふんです。被害額が青天井の原発事故を保険会社が引き受ける際、どれくらいの保険料になるか。いくら利益が出て、原発事故を1回引いてしまつたら大変

— 私たちが負担する電源三法交付金や研究開発費などを加えると「原発のコストは高い」という計算結果を発表していますね 「原子力を不当に高いものにしてやろう」とか、そういう気持ちは別にないんです。仮に、安ければ安くたっていい。でも、高くてもやらなければいけないこともあれば、安くてもしっかりいらないこともある。福島事故の現実を見たら、「もはやコストの問題ではない」と思っています。

保険市場 成立せぬ技術

— 事故が起きる確率をめぐっても、推進派論者と意見の隔たりがあります 「事故が起る確率は極めて低い」という信念を持

— 事故が起きる確率をめぐっても、推進派論者と意見の隔たりがあります 「事故が起る確率は極めて低い」という信念を持

— 私たちが負担する電源三法交付金や研究開発費などを加えると「原発のコストは高い」という計算結果を発表していますね 「原子力を不当に高いものにしてやろう」とか、そういう気持ちは別にないんです。仮に、安ければ安くたっていい。でも、高くてもやらなければいけないこともあれば、安くてもしっかりいらないこともある。福島事故の現実を見たら、「もはやコストの問題ではない」と思っています。